

# 第 10 回 (平成 25 年度) 協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業などの活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

すずき さちこ  
鈴木 佐知子 氏 ((一財)ファインセラミックスセンター)

## 化学分析方法規格作成と標準物質作製による標準化事業への貢献



鈴木佐知子氏は昭和 62 年に(財)ファインセラミックスセンターに入所以来、一貫してセラミックスの化学分析業務に携わり、広く業界の化学分析技術の向上と普及に寄与してきた。同 63 年より日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会(旧原料部会)化学分析分科会に参加し、今日に至るまでの間、7つの日本セラミックス協会規格(JCRS)および6つの日本工業規格(JIS)の作成に参画して、セラミックス材料の化学分析技術の標準化に大きな役割を果たした。また、規格作成と同時に実施された協会認証標準物質作製のための共同実験に参画して信頼性の高い分析値を報告し、協会認証標準物質の開発に多大の貢献をした。同氏の際立った特質は、セラミックス業界において、製造者および使用者ではない中立者として、中立的立場から偏りのない公正な見解を示すとともに常に信頼性の非常に高いデータを提供し、種々の分析法に精通した優秀な技術者の一人として誰もが一目置いているところにある。以上のように、同氏は同会化学分析分科会における 25 年余の長きにわたる活動を通じて、協会が推進する標準化事業に多大の貢献をしており、協会活動有功賞に十分値するものとして推薦する。

**略歴** 昭和 62 年愛知県立瀬戸窯業高等学校窯業科卒業。同年(財)ファインセラミックスセンター入所(現(一財)ファインセラミックスセンター)。現在、材料技術研究所材料評価・試作グループにて熱特性評価および化学分析業務に従事。